

一般質問

渡辺 慎一 議員

新市長の所信をただす



【質問】 市長の考えを知る少ない情報の中から今回は所信表明について質問する。

まず、新庁舎建設について、費用対効果、建設費削減は防災拠点の観点から行政としてなじまないと考えるがどうか。

【市長】 無駄な機能がないか、工事費の削減が可能かどうか等についての検討を行い、また20年後の佐渡市の人口や職員数を考慮した上で、防災拠点としての機能を含めた本庁舎、支所、行政サービスセンターのあり方や活用方法、市民にとつての利便性などの検討を行い、トータルの費用対効果も検討しながら総合的に判断する。

【質問】 補助金支援でない農政、市と農業団体と農家が連携する取り組みとは具体的にどのようなことか。

【市長】 補助金制度のみに頼

ることなく、施設整備等の初期コストへの支援、生産物の地産強化を進め、複合経営で受け皿を作る。

【市長】 米だけでなく園芸作物の地産強化を進め、複合経営で受け皿を作る。

【質問】 国の新規就農者制度や佐渡版戸別所得補償制度は今後も続けるか。

【市長】 戸別所得補償制度及び新規就農支援についての補助制度については取りやめるつもりはない。

【質問】 農業は国の食料安全保障上の意味合いもあると思うが、市長の所信には佐渡の田んぼのことが書かれていない。これからどう守っていくのか。

【市長】 島の米政策については、順調に進んできていると評価している。今後この流れで続けていく。

【質問】 担い手育成と地産地消について問う。

【市長】 例え水耕、IT制御の近代的農業。生産プロセス加工農産物や水産物等々、初期投資がかかり、個人ではなかなか踏み出せないところを、皆さんと一緒になつて進めていくのも立派な公共投資だと思つている。

【質問】 米だけでなく園芸作物の地産強化を進め、複合経営で受け皿を作る。

【市長】 米だけでなく園芸作物の生産拡大を図る。

【質問】 加工施設設置は具体的にどのようなことか。

【市長】 米農家と製造業者が連携して米粉を製造販売する。また果樹組合と連携し、りんご、ルレクチェを加工、高付加価値化を図る

【質問】 佐渡の活性化のために時代の新しい切り口で仕掛けを作つていただきたいが。

【市長】 例え水耕、IT制御の近代的農業。生産プロセス加工農産物や水産物等々、初期投資がかかり、個人ではなかなか踏み出せないところを、皆さんと一緒になつて進めていくのも立派な公共投資だと思つている。

【質問】 TPP、原発再稼働の見解を問う。

【市長】 原発再稼働は反対。TPPはビジネスチャンス拡大になり、佐渡ブランドの販売戦略が必要。

【質問】 新市政になり、地域図書館や両津文化会館、真野体育館、金井温泉はどうなるのか。

【教育長】 策定する公共施設計画と整合性を図り個別に判断する。

【質問】 すでに、両津文化会館や真野体育館、地域図書館は教育委員会で廃止等を決め住民説明もしており、矛盾しているのではないのか。

【教育長】 両津文化会館は既に修繕し約2年延命できる形だ。策定する個別計画は、従来と大きく変わるものでないと考えている。

一般質問

中川 直美 議員

選挙結果に示された市民の期待に応える市政へ



【質問】 TPP、原発再稼働の見解を問う。

【市長】 原発再稼働は反対。TPPはビジネスチャンス拡大になり、佐渡ブランドの販売戦略が必要。

【質問】 新市政になり、地域図書館や両津文化会館、真野体育館、金井温泉はどうなるのか。

【教育長】 策定する公共施設計画と整合性を図り個別に判断する。

【質問】 すでに、両津文化会館や真野体育館、地域図書館は教育委員会で廃止等を決め住民説明もしており、矛盾しているのではないのか。

【教育長】 両津文化会館は既に修繕し約2年延命できる形だ。策定する個別計画は、従来と大きく変わるものでないと考えている。

【質問】 金井温泉は、温泉復活

【市長】 両津文化会館は既に修繕し約2年延命できる形だ。策定する個別計画は、従来と大きく変わるものでないと考えている。

【質問】 金井温泉は、温泉復活

【市長】 両津文化会館は既に修繕し約2年延命できる形だ。策定する個別計画は、従来と大きく変わるものでないと考えている。

【質問】 TPP、原発再稼働の見解を問う。

【市長】 原発再稼働は反対。TPPはビジネスチャンス拡大になり、佐渡ブランドの販売戦略が必要。

【質問】 新市政になり、地域図書館や両津文化会館、真野体育館、金井温泉はどうなるのか。

【教育長】 策定する公共施設計画と整合性を図り個別に判断する。

【質問】 すでに、両津文化会館や真野体育館、地域図書館は教育委員会で廃止等を決め住民説明もしており、矛盾しているのではないのか。

【教育長】 両津文化会館は既に修繕し約2年延命できる形だ。策定する個別計画は、従来と大きく変わるものでないと考えている。

【質問】 金井温泉は、温泉復活

【市長】 両津文化会館は既に修繕し約2年延命できる形だ。策定する個別計画は、従来と大きく変わるものでないと考えている。

【質問】 金井温泉は、温泉復活

【市長】 両津文化会館は既に修繕し約2年延命できる形だ。策定する個別計画は、従来と大きく変わるものでないと考えている。

【質問】 TPP、原発再稼働の見解を問う。

【市長】 原発再稼働は反対。TPPはビジネスチャンス拡大になり、佐渡ブランドの販売戦略が必要。

【質問】 新市政になり、地域図書館や両津文化会館、真野体育館、金井温泉はどうなるのか。

【教育長】 策定する公共施設計画と整合性を図り個別に判断する。

【質問】 すでに、両津文化会館や真野体育館、地域図書館は教育委員会で廃止等を決め住民説明もしており、矛盾しているのではないのか。

【教育長】 両津文化会館は既に修繕し約2年延命できる形だ。策定する個別計画は、従来と大きく変わるものでないと考えている。

【質問】 金井温泉は、温泉復活

【市長】 両津文化会館は既に修繕し約2年延命できる形だ。策定する個別計画は、従来と大きく変わるものでないと考えている。

【質問】 金井温泉は、温泉復活

【市長】 両津文化会館は既に修繕し約2年延命できる形だ。策定する個別計画は、従来と大きく変わるものでないと考えている。

一般質問

「佐渡アイランド集落ツーリズム構想」の実現に向けて

室岡 啓史 議員



【質問】 佐渡の農山漁村集落を巡りながら余暇を過ごす滞在型観光、農山漁村集落の生業を大切にし守り育て、生き生きと暮らせる地域づくりの仕組みとして、「佐渡アイランド集落ツーリズム構想」の実現を目指す。集落のチカラは佐渡のチカラ。サービス開始は数年以内に行けるとしても完成するのに50年かかると思込んでいる。大きな構想である。佐渡市としての明確なブランドデザインを示していただきたい。

【市長】 スローライフを堪能できる集落を絶対になくしてはいけないということを感じている。集落ツーリズムは、非常に面白い、素晴らしい構想だと思う。ただ、区分けをして組み立てていかねばならず、適した集落については、交流人口

拡大も含めた今後の体験型ツーリズム候補地として組み立てていくことは非常に重要な課題だと思う。

【質問】 一社一村運動とは、企業や大学等の団体と農山漁村が協働活動することで農山漁村地域の活性化を図る運動で、2004年に韓国で始まった取り組みである。国や県から予算を持つてくる、佐渡市の予算を確保することもさることながら、島内外の企業に協力する要請することも大変重要なことと考える。具体的には、新潟県内や首都圏企業との地域活性化包括連携協定を締結するというところである。韓国の一社一村運動のように、佐渡でもやるべきだと考える。民間企業の協力を得るには、集落と企業の

W INN X W INN の関係が必要不可欠である。集落は元気になり、企業は社会的貢献を果たす。そのためにはベストマッチングの仕組みづくりが必要である。

【市長】 集落の存続、活性化については一社一村運動だけにこだわることなく、それぞれの集落のそれぞれの地域の特性に対して何が最適な対策かは考える必要があると思う。

漁村 アイランド集落



一般質問

新市長の政策、市の様々な問題について見解を問う

荒井 眞理 議員



【質問】 日本が平和憲法によつて70年間守つて来た平和についての見解を問う。

【市長】 戦争は二度と起こしてはならず、憲法第9条は今後も徹底して遵守すべきものであると考える。

【質問】 全ての原発を一刻も早く廃炉にすべきと考えるが、特に柏崎刈羽原発について市長の見解を問う。

【市長】 市民の安全、安心を守るために国、県、事業者にしつかりと反対の考え方を述べていく。

【質問】 どの離島、類似団体より図書館行政が貧しく、充実を求めるが見解を問う。

【市長】 司書配置や土日休館の図書室を市民の立場に立つて営業日の変更などサービス向上に努める。

【質問】 図書館費は充実する方向で示したい。

【教育長】 図書館費は充実する方向で示したい。

【質問】 日本が平和憲法によつて70年間守つて来た平和についての見解を問う。

【市長】 戦争は二度と起こしてはならず、憲法第9条は今後も徹底して遵守すべきものであると考える。

【質問】 全ての原発を一刻も早く廃炉にすべきと考えるが、特に柏崎刈羽原発について市長の見解を問う。

【市長】 市民の安全、安心を守るために国、県、事業者にしつかりと反対の考え方を述べていく。

【質問】 どの離島、類似団体より図書館行政が貧しく、充実を求めるが見解を問う。

【市長】 司書配置や土日休館の図書室を市民の立場に立つて営業日の変更などサービス向上に努める。

【質問】 図書館費は充実する方向で示したい。

【教育長】 図書館費は充実する方向で示したい。

【質問】 日本が平和憲法によつて70年間守つて来た平和についての見解を問う。

【市長】 戦争は二度と起こしてはならず、憲法第9条は今後も徹底して遵守すべきものであると考える。

【質問】 全ての原発を一刻も早く廃炉にすべきと考えるが、特に柏崎刈羽原発について市長の見解を問う。

【市長】 市民の安全、安心を守るために国、県、事業者にしつかりと反対の考え方を述べていく。

【質問】 どの離島、類似団体より図書館行政が貧しく、充実を求めるが見解を問う。

【市長】 司書配置や土日休館の図書室を市民の立場に立つて営業日の変更などサービス向上に努める。

【質問】 図書館費は充実する方向で示したい。

【教育長】 図書館費は充実する方向で示したい。

機構改革に反映していけるよう進言していく。

【質問】 トキの森公園に作った物産館が2年もたたずに廃業になった責任を問う。

【市長】 この事業には、市が9割出資する(株)向津TMOと前市長、当時の市議会議長、市の入札業者も関わった。道義的責任があるのでは。

【産業振興課長】 企業の経営努力に問題があったと考えるが、市に一部道義的責任はあるか、検討する。

【市長】 7月の企業の株主への負債の説明会を踏まえて市の対応を検討する。

【質問】 ビッグフィッシュャー事件の原因には、当初の協議会に3年以上操業しない沢根大謀を生産者として市が黙認したことにあるのでは。

【農林水産課長】 沢根大謀は再開を口頭で回答していた。

一般質問

猪股 文彦 議員

将来世代のために、 力強い行政改革の推進を



〔質問〕 所信表明で行政改革を第一に取り上げたことは、交付金や補助金のバラマキの人气取りを止めて将来世代に負担をつけ回さないということだが、行政改革の「柱」はどのようなことか。

〔市長〕 「大きな政府」とか「小さな政府」というのではなく、スピード感を持って、より機能的な市民サービスを行える行政組織を作り上げていきたい。

〔質問〕 「大きな政府」は税金が多額に在るわけだから、「小さな政府」を目指すのであれば行政改革にならないと思うが、どうか。

〔市長〕 「大きな政府」という考えは一切持っていない。

〔質問〕 活気ある行政組織の実現と迅速かつ的確な意思決定体制のため副市長2人制にしたいというが、かつて高野市長時代、市議会は

副市長2人制と部長制の廃止を強く指摘し、廃止させた。市長は副市長2人制を言い出しているが、行政改革に逆行するのではないか。

〔市長〕 広範囲にわたる施策に対応するためと本庁と支所・行政サービスセンターの連携強化のため副市長2人を設置したい。

〔質問〕 副市長を1人増やすと報酬や経費で1千万円以上かかる。行政改革をするというのであれば、まず「スクラップ」そして「ビルド」をすべしで、行政改革にまつく逆行しているのではないか。

〔市長〕 まず、副市長2人制にしてから、来年春を目指す機構改革に向け、市長・副市長3人で早急に各部署の再編の在り方、機構改革の形を早く作り上げたいというのが主目的だ。

〔質問〕 ガラス張りの行政運営

を目指しているが、補助金不正受給問題を暗に指摘していると思うが、ビッグフィッシュ問題、NPOの不正受給、銀鮭養殖モデル事業(株)佐渡しままーとへの補助金問題など、数え上げれば切りがない程度だ。市長権限で透明性のある情報公開ができると思うが、どうか。

〔市長〕 相次ぐ補助金の不正受給に対する市の対応に不信感を抱く市民が多い。外部監査人の監査により、補助金交付の基準を確立したい。積極的な情報公開を行い、信頼回復に努めたい。

〔質問〕 佐渡金銀山の世界遺産登録国内推薦が確実と聞くが、交通アクセス、特に国道350号線の整備を県に強く要望すべきではないか。

〔市長〕 県に強力に働きかける。

一般質問

近藤 和義 議員

市民のために 本庁舎建設の早期着工を



〔質問〕 市長は合併協定書の「新たに建設する本庁舎の位置は金井町千種沖とす」との内容を守るか。

〔市長〕 合併協定書の内容は遵守する。

〔質問〕 市長は、本庁舎建設事業の議決予算の執行を9月まで止めて、建設費の削減が可能か検証するとしている。しかし、比較表の通り、9月まで延期して、仮に建設費を10億円削減しても、佐渡市の負担はほぼ同額である。加えてその場合、基本設計のやり直しとなる可能性が大きく、合併特例債事業に間に合わなくなり、計画通りに進める場合と比較して20億円以上の市民の血税を無駄遣いすることとなる。分庁方式の弊害と狭隘な現庁舎の改善、そして防災拠点機能充実のためにも、予算執行を止める

ことなく、早急に事業を進めるべきではないか。

〔市長〕 少し時間を頂いて検討した上で報告したい。

〔質問〕 これは、広範囲に市民アンケートを実施して、その結果を踏まえて、議会は特別委員会を、執行部は検討会議を設置し、先進地視察等を経て、共にいかにして市民のために血税を節約してその安全性と利便性を高めることができるか検討を重ね、長年をかけて積

み上げてきた計画である。市長の思いつきで簡単に判断して、市民に大きな損失を与えるようなことをしてはいけない事項であり、計画通りすぐに本庁舎建設に着手することが市民の利益であると確信するがどうか。

〔市長〕 申し訳ないが、少し時間をかけて検討させて頂きたい。あくまでもスピーディーに判断して報告したい。

本庁舎建設事業を 延期した場合との比較

- 建設事業を計画通りに進めた場合

| | | |
|---------|---------------|---------|
| 新庁舎建設費 | 30億円 | 合併特例債活用 |
| 現庁舎改修費 | 3億円 | |
| 第2庁舎解体費 | 5千万円 | |
| 年間償還額 | 4千5百万円(20年償還) | |
| 一般財源対応額 | 約11億円 | |
- 建設事業を9月まで延期し、建設費を10億円削減した場合

| | | | |
|---------|--------------------|---------|--------|
| 新庁舎建設費 | 20億円 | 合併特例債活用 | |
| 現庁舎改修費 | 3億円 | | 一般財源対応 |
| 第2庁舎解体費 | 5千万円 | | |
| 年間償還額 | 3千万円(20年償還) | | |
| 移動時燃料費等 | 1千6百万円以上(執行部試算・年間) | | |
| 年間負担額 | 4千6百万円以上 | | |
| 一般財源対応額 | 約11億円 | | |
- 建設事業を後年度まで延期した場合

| | |
|---------|--------------|
| 移動時燃料費等 | 1千6百万円以上(年間) |
| 一般財源対応額 | 約3.4億円 |

要望・意見に対する市の対応状況

◆平成28年度第2回(3月)定例会において、常任委員会が付した主な意見について、市の対応状況を報告します。

(1)平成28年度佐渡市一般会計予算について

①改選期の当初予算編成方針について

要望・意見 市長の改選を間近に控えているにも関わらず、本予算は骨格予算として編成されていない。しかし、市の組織体制については選挙後に見直しするとの説明を受けており、両方針の間に整合性がない。これは市長の政治姿勢の問題である。よって、市長は、改選期の予算編成及び組織編制のあり方について、今後、考慮されたい。

②REASAS及び佐渡航路データ等を活用した佐渡版DMO形成事業について

要望・意見 DMOとは、「科学的アプローチを取り入れて観光地域づくりを行う舵取り役」であり、市は、平成30年度を目的にその組織化を行うと説明している。しかし、当該スケジュールは、佐渡観光の危機的状況に鑑みると、極めて冗長であると断ずる。よって、市は、想定しているスケジュールを可能な限り前倒しし、可及的速やかに取組まれるよう強く求める。

対応状況 DMOの形成には多様な関係者の合意形成や専門人材の確保が必要であり、それらに一定程度の時間を要すると見込んだため、平成30年度を目的に組織化を図ることとしたものであるが、できるだけ早く合意形成を図り佐渡版DMOのスキームを早期に確立する。

③佐渡ふるさと島づくり寄附金事業について

要望・意見 いわゆる「ふるさと納税」については、佐渡出身者の団体等に積極的に働きかけるなどして、増収に努められたい。

対応状況 郷土会や観光・物産展等イベントの場を通じて、積極的なPRに努める。

④佐渡インフォメーションセンター運営事業について

要望・意見 あいばーと佐渡の平成27年度の稼働率は約15%に終わる見込みであり、当初予定していた貸館使用料を大きく下回る結果となっている。今や、同施設は、市民から行政の無駄遣いの象徴のように見なされており、早急に抜本的な対応が望まれるところである。よって、市は、同施設の運用方針等について、現在本庁舎に位置している佐渡観光協会事務局の所在変更を含めて再検討し、議会へ示すよう強く求める。

対応状況 情報発信を強化し施設の認知度を高めるとともに、伝統芸能等の紹介や地区公民館の作品展、みなどオアシスを活用した協働イベント等を開催し、来島者や市民が頻繁に来館し人が集まる施設となるよう利用促進を図る。施設の運営方法については、機能充実を含め関係団体等と協議をしていく。

⑤地域の活力再生事業について

要望・意見 地域おこし協力隊員の配置については、地域の実情及び要望を踏まえて、慎重に検討されたい。

対応状況 地域の実情や要望等を聴取しながら、十分な準備期間を取って配置する。

⑥世界遺産推進費について

要望・意見 本委員会において、執行部から、

ワイドブルー相川については、今後温泉施設としての機能を廃し世界遺産ガイダンス施設として活用するとの説明を受けたところである。よって、当該方針について、早急に住民説明を行うよう、強く申し入れる。

対応状況 世界遺産ガイダンス施設の活用については、可能な限り早急に住民説明を実施する。

⑦地域自主組織支援事業について

要望・意見 本委員会に示された要綱案によれば、市は、各地区に複数の地域自主組織が設立できるスキームを考えている。しかし、そのようなスキームでは、地区の混乱や行政と申請者との癒着を招く懸念がある。よって、市は、本事業の内容を白紙撤回した上、改めて検討し、当該検討内容を議会へ報告するまでの間、本事業の経費を執行しないよう、強く求める。

対応状況 地域自主組織の定義や対象要件等を見直し、補助金交付要綱案を常任委員会に報告する。

⑧監査委員費について

要望・意見 昨年度来、市は一連の不祥事に見舞われたが、再発防止に向け、監査委員事務局の果たす役割は極めて大きいものと思料する。よって、市は、類似団体等の例に照らして、監査委員及び監査委員事務局の体制について検討し、強化充実されるよう求める。

対応状況 適正な事務の遂行と効率的な業務プロセスの改善において監査の果たすべき役割が高まっていることを認識しているが、職員の見習い化の取組を進める中で効率的かつ実効力のある監査が実現できるよう人材育

成と情報収集に努めている。また、専門性の高い監査を実施できるよう外部監査制度の導入により佐渡市の監査体制の強化充実を図っていく。

⑨小学校費及び中学校費について

要望・意見 児童・生徒の安全安心確保のため、通学路に十分な防犯灯を設置されるよう申し入れる。

対応状況 通学路として防犯灯が必要な場所を現地確認した上、関係課で設置及び維持管理について協議を進める。

⑩市スポーツ協会運営経費補助金

要望・意見 市民スポーツ活動を一層振興するためには、佐渡市スポーツ協会の財政基盤強化が不可欠である。寄附金の増収等について、鋭意努力されたい。

対応状況 協会では、現在協賛していたいただいている企業に新たな企業の紹介を依頼しており、今後協賛が得られるよう会社訪問を考えている。また、協会の役員総出で新たな協賛企業を増やすよう島内企業の洗出しを進め、寄附金等の増収に努めている。

⑪農業者戸別所得補償推進事業について

要望・意見 当該事業の趣旨である持続可能な農家所得を確保するとの観点及び耕作放棄地の増加を防ぐ観点から、条件不利地に対する支援を強化すべきである。よって、次年度の予算編成において事業の再構築を検討されたい。

対応状況 条件不利地に対する支援の強化については、日本型直接支払制度が拡充され、平成27年度から超急傾斜農地に対する加算が追加されたので、関係者への周知に努める。

⑫畜産振興事業について

要望・意見 畜産振興には、獣医師の存在は不可欠である。獣医師を正規の職員として確保するよう努められたい。

対応状況 佐渡農業共済組合が募集した結果、平成28年4月1日付けで40代の獣医師が